

# 目 次

**目次欄（青字）をクリックすると、該当ページに移動します。**

出席委員 .....	1
認定第1号 令和6年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について .....	3
認定第2号 令和6年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について .....	7
認定第3号 令和6年度利府町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について .....	9
認定第4号 令和6年度利府町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について .....	9
認定第5号 令和6年度利府町町営墓地特別会計歳入歳出決算の認定について .....	10
認定第6号 令和6年度利府町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について .....	10
認定第7号 令和6年度利府町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について .....	11

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS 第1水準漢字」を使用しています。

このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場合があります。

令和7年 9月決算審査特別委員会会議録（9月11日 木曜日分）

令和7年 利府町議会決算審査特別委員会会議録（第4号）

令和7年9月11日（木曜日）

出席委員（15名）

委員長 伊藤 司 君

副委員長 羽川 喜富 君

委員 郷右近 佑悟 君

須田 聡宏 君

皆川 祐治 君

金 萬 文雄 君

浅川 紀明 君

小 渕 洋一郎 君

永 野 渉 君

阿 部 彦忠 君

高 木 綾子 君

鈴 木 晴子 君

土 村 秀俊 君

今 野 隆之 君

高 久 時男 君

欠席委員（なし）

説明のため出席した者

町 長

熊 谷 大 君

副 町 長

櫻 井 やえ子 君

総 務 部 長

村 田 晃 君

企 画 部 長

郷右近 啓一 君

町 民 生 活 部 長

堀 越 伸二 君

保健福祉部子ども支援課長

加 藤 典子 君

経 済 産 業 部 長

藤 岡 章 夫 君

都 市 開 発 部 長

福 島 俊 君

上 下 水 道 部 長

川 口 優 君

会 計 管 理 者

千 田 耕 也 君

教 育 部 長

阿 部 昭 博 君

令和7年 9月決算審査特別委員会会議録（9月11日 木曜日分）

代 表 監 査 委 員

宮 城 正 義 君

---

事務局職員出席者

事 務 局 長

太 田 健 二 君

議 事 係 長

戸 石 美 佳 君

主 査

鈴 木 則 昭 君

午前9時30分 開 議

○委員長（伊藤 司君） おはようございます。

これより決算審査特別委員会を再開します。

ただいまの出席委員は15名です。

暑い方は上着を脱ぐことを許可します。

これより議事に入ります。

本特別委員会に付託された令和6年度利府町各種会計決算については、9月5日から3日間にわたり各部長等から所管事項の説明を受け、慎重に審査してまいりました。これから、案件ごとに討論、採決を行います。

初めに、**認定第1号 令和6年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について**、討論、採決を行います。

討論ありませんか。7番 金萬文雄委員。

○金萬文雄委員 認定第1号 令和6年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について、共産党議員団として反対の討論を行います。

令和6年度一般会計決算に計上された町の施策については、町民の暮らしを支える数多くの施策が計上されている部分については認めるものです。しかし、決算特別委員会の質疑で述べた点などを踏まえ、町の実施した施策が町民の暮らしに対して課題を残す部分や要望に応え切れていない箇所があります。

主な点について指摘し、討論を行います。

1、各種の基金積立てについてです。

町が積み立てている数々の基金総額は、令和6年3月31日現在高で約38億3,000万円あり、令和5年度末と比べて2億2,000万円ほど増えています。一方で、借金である地方債は、令和5年度の5事業、7億7,000万円から、令和6年度11事業、10億に増加しています。

町からは、将来の大規模な活用の必要性などを見越して計画的に積み立てて、大きくない事業については借り入れることで財政負担の軽減を図っているとの説明がありました。

確かに、将来の大規模事業のために基金を積み立てておくことは、財政の安定につながるものと思いますが、しかし、これらの財源の多くは、実質賃金が物価高騰に追いついていない状況の中で町民が必死に払っている町税などです。基金は有効に活用するとともに、適正な規模の金額を基金の積立てに充当するべきであり、その年度で町に歳入された財政は、最優先に町

民の暮らしの施策実施のために活用すべきであります。

2点目、観光費や地域振興費についてです。

町は、地域振興費、観光費、地域おこし協力隊支援事業など、これらの事業で委託料や補助金など9億4,000万円以上の多額の費用を支出しています。しかし、これらの事業での人材育成、商品開発、観光などを通じた地域活性化や町のブランド力向上の成果が見えにくく、地方創生事業の主要な目的である人口増や仕事創出などの効果もあまり明確ではありません。

これらの事業の財源は、国や県の交付金や補助金などが活用されているとはいえ、町としても多額の費用を支出していますが、各事業の実施による成果が結果的に町民の暮らし応援や地域活性化に支出額に見合った効果として反映されているのか、疑問を感じます。

3点目、教育資金の利子補給についてです。

教育資金利子補給事業は、令和6年度の利用者が4名であり、直近3年間で3分の1になっています。町が周知の努力をしているにもかかわらず、高校・大学へ通っている利府町の学生数と比較して、この事業の利用者が極端に少ないという実態は、住民のニーズに合致していないと考えます。就学助成として適正な事業であるか、町として検討すべきと考えます。

今までも予算決算の討論や一般質問で繰り返し指摘していますが、町が教育費の支援として検討すべきは、町独自の無利子の奨学金制度実施です。教育費の負担は、子育て不安の大きな要因になっており、特に高校、専門学校、大学にかかる教育費の負担は大変重く、その経済的支援としての町独自の奨学金制度実施は非常に重要な施策です。子供医療費無料化や学校給食費の無償化など、子育て支援の先進の町として実施の検討を始めるべきです。

以上の点を主な反対理由として、令和6年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について反対討論といたします。

以上です。

○委員長（伊藤 司君） 次に賛成討論。6番 鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 認定第1号 令和6年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定に対しまして、賛成の立場から討論いたします。

令和6年度の事業は、町民の皆様が幸せを実感できる持続可能な町の発展へ向け、各事業が着実に実施されました。歳入決算額につきましては159億7,918万円で、前年度に比べ4億6,818万1,423円増加しております。増加の主なものは、地方交付税等となっております。また、町債の借入れは10億3,310万円で、前年度に比べ2億5,750万円増加しており、その主な内容につき

ましては、新中堀新川崎線道路整備事業として、道路整備事業債及び庁舎長寿命化改修事業等として緊急防災・減災事業債の増加によるものであります。

一方、歳出決算額は153億8,536万3,605円で、前年度に比べ5億3,380万955円増加しており、歳入歳出差引き額が5億9,382万円で、翌年度へ繰り越すべき財源3,935万円を除き5億5,446万円が実質収支額となり、そのうち2億8,000万円を財政調整基金に積み立てました。

次に、財政指標につきましては、財政力指数や実質収支比率が安定しており、県平均を上回る指標も見られるなど一定の健全性が確認できます。

今後も、将来負担比率の改善に努めつつ、柔軟で持続可能な財政運営が継続されることを期待いたします。

歳出の主な事業につきましては、快適で暮らしやすい生活環境づくりとして、将来のまちづくりを見据え、渋滞緩和や交通利便性の向上に資する持続可能な道路網を構築するために、道路計画の策定や新中堀新川崎線、館太子堂線の道路整備工事に取り組みました。また、老朽化している八幡崎、堀川、石田住宅の集約建て替えに向け、事業者の選定を行いました。今後も住民の皆様にとって、より暮らしやすい環境となることを期待いたします。

公共交通の充実では、令和5年11月より開始した利府町版m o b iの実証運行の継続を行い、運行範囲を令和6年度中に2キロから3キロに拡大するなど、利用者ニーズを反映しながら取組を進めました。引き続き、高齢者の免許返納対策など、住民に寄り添った公共交通の在り方の検討を望むものであります。

環境行政につきましては、ゼロカーボンチャレンジ補助事業を実施いたしました。省エネ家電等購入への補助事業の実施により、脱炭素社会の機運の醸成が図られていることを評価するものであります。

健康で支え合える地域福祉づくりとして、健康増進、食育推進、自殺対策、疾病予防事業、障害者福祉各種事業に取り組み、社会福祉、障害者福祉等の増進に努めました。また、地域包括支援センターにつきましては、地域における高齢者の総合相談窓口として、各種相談やカフェの実施、家族介護者への支援を行い、地域に密着した事業に努めました。利用者からも親切で丁寧という声が多く聞こえており、今後も地域の皆様と共にニーズを反映しながら事業が実施されることを期待いたします。

子供たちの笑顔があふれる環境づくりにおきましては、令和6年4月に中央児童センターへあくるが開館し、施設の中心となっている室内遊び場が、町内・町外の皆様へ高評価をいただ

いているところであります。

また、2つの認定こども園が4月に開園され、保育の充実を図ったほか、一時預かり事業におきましても2園が実施をスタート、さらには菅谷台保育所において医療的ケア児の受入れを開始するなど、保護者が安心して子供を預けることのできる保育環境の充実に努められたことは評価できるものであります。

学校教育につきましては、障害児学習支援員やスクールサポートスタッフの拡充、心のケアハウス十符ルームの充実を図るなど、児童生徒の日常生活や学習活動上のサポートを行い、個々の状況に応じたきめ細やかな支援の充実に努めました。また、学校給食費無料化事業や体育着支給など、町独自の子育て支援についても継続的に図られていることは高く評価できるものであり、子育てに優しい町として、さらなる子育て支援策の充実を望みます。

活力のある地域産業づくりとして、産業の活性化による雇用機会の創出や人口増加等を推進するために、企業の需要調査を行い、本町と親和性の高い企業をリスト化するなど、積極的な企業誘致活動に取り組みました。

持続可能な協働のまちづくりとして防災DXを推進し、町独自の防災アプリ「まもりふ」のリリースを行いました。

また、誰一人取り残されないデジタル社会の実現に向け、スマホ教室を32回開催、地域全体のDX推進として、紙の請求書を電子化するシステムを構築し、ペーパーレス化の推進を図りました。

ふるさとPR事業につきましては、令和5年の寄附者等へ約6万通のDMの発送やサイト内広告の充実を図っており、本町の魅力発信とともにふるさと納税の拡大に精力的に取り組ましました。

本町の歴史と歩みを記録した町史が令和6年度に完成いたしました。編さん作業に携わっていただきました委員の皆様には心から感謝を申し上げます。この町史は、私たち町民の宝であると同時に、未来を担う子供たちへの大切な贈物でもあります。町の歩みを振り返り、誇りと絆をより一層深めていく契機となることを期待いたします。

令和6年度の予算執行では、総合計画の目指す町民の皆様一人一人が幸せを実感できる持続可能な町への発展に向け、各事業を着実に実施され、健全な行財政運営が図られたものと評価するものであります。

今後も健全な財政を堅持しつつ、町民福祉の向上に向け、積極的な事業の推進に邁進してい

たきますよう要望いたしまして、賛成の討論といたします。

以上でございます。

○委員長（伊藤 司君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第1号 令和6年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（伊藤 司君） 起立多数です。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第2号 令和6年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。最初に反対討論。7番 金萬文雄委員。

○金萬文雄委員 認定第2号 令和6年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定に、共産党議員団としての反対の討論を行います。

令和6年度の国保会計で実施している国保事業は、町民の健康と福祉の増進に寄与する施策であることはもちろん認めるものです。しかし、国保税の重い負担は、実質賃金や年金が物価高騰に追いついていない状況の中で、より暮らしが厳しい町民の生活に対して配慮が必要ではないかと考えます。

以下の点を指摘し、討論を行います。

1点目は、国保税が被保険者の暮らしの負担になっている点です。

令和6年度の国保税の調定額は、1人当たり11万8,414円で前年比2万円増、1世帯当たり18万3,663円で前年比2万8,000円増となっています。国民健康保険の自動計算サイトによると、年間所得300万円で、父母40歳以上、小学生2名の4人家族のモデル世帯の国保税は、県内35自治体で比較すると一番高い国保税となりました。

また、町税等の収納状況を見ると、国保税を含む7つの税項目の中で、国保税の収納率だけが他の税目と比べて94.4%と落ち込んでいます。国保税7割、5割、2割軽減の被保険者は、所得基準範囲が拡大したとはいえ、加入世帯の57.1%が軽減対象世帯となっており、年々増加



しています。

国民健康保険は、自営業者やフリーランス、年金生活者、非正規雇用の労働者など収入が不安定な方の加入者が多くいます。物価高騰に賃金や年金が追いつかず、さらに生活苦に拍車がかかっている中、令和5年度からの2年連続の国保税大幅な引き上げは、被保険者の生活を直撃し、さらに困難なものにしています。住民からは、国保税が高くて払うのが大変、今は何とか払えているが、このままでは払えなくなるかもしれないなど、不安の声が当議員団へ寄せられています。特に、均等割り負担が大きい子育て世帯ほど生活を直撃している現状があります。このような状況を踏まえれば、今後の収納率低下や軽減世帯の増加が懸念されます。町は、住民の暮らしに寄り添い、子供の均等割軽減も含め国保税の引下げに努力すべきです。

2点目は、滞納者への対応についてです。

令和6年度の滞納繰越の調定額は9,792万円で、昨年とほぼ同様となっています。政府は、昨年12月2日から、様々なトラブルがある中、マイナ保険証への切替えを強行し、それに伴い短期保険証の発行ができなくなりました。このことにより、町は滞納している方への対応がより丁寧に行わなければならなくなっています。滞納している方の生活の実態をしっかりと酌み取り、丁寧な納税相談を行い、生活に支障のないよう、無理のない範囲内での支払い計画を立てるなど、滞納者の暮らしを優先した取組など、町へはこれまで以上の対応を求められます。

以上の点を理由に、令和6年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定に対する反対討論といたします。

以上です。

○委員長（伊藤 司君） 次に賛成討論。11番 小渕洋一郎委員。

○小渕洋一郎委員 認定第2号 令和6年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、賛成の立場で討論いたします。

令和6年度については、歳入約31億9,201万円、歳出約31億4,596万円でありました。

歳入では、国民健康保険税の収入済額は、構成比で21.1%の約6億7,558万円で、前年度と比較すると約8,110万円の増額となっております。これは、昨今の厳しい国民健康保険財政を鑑み税率改正を実施したことにより、国保加入者から応分の負担をいただいたことによるものであります。

一方、歳出では、保険給付費が約21億9,980万円で、歳出全体の69.9%を占めており、前年度と比較すると約1億7,778万円の減額となっております。

一般的に、医療費の増大は国保財政を圧迫する大きな要因と言われております。今後も医療費の削減が最重要課題であります。高齢者が年々増えていく現状を踏まえ、国保加入者の健康保持増進が極めて重要となります。本町におきましては、データヘルス計画に基づき、各種検診事業の実施など、国保加入者の健康保持増進を奨励して医療費の削減に努めている成果が認められますので、令和6年度の決算は適正に執行されたと考え、賛成いたします。

以上。

○委員長（伊藤 司君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第2号 令和6年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（伊藤 司君） 起立多数です。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第3号 令和6年度利府町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第3号 令和6年度利府町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第4号 令和6年度利府町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、

討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第4号 令和6年度利府町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第5号 令和6年度利府町町営墓地特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第5号 令和6年度利府町町営墓地特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第6号 令和6年度利府町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第6号 令和6年度利府町水道事業会計利益の処分及び決算の認定についてを

採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第7号 令和6年度利府町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第7号 令和6年度利府町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤 司君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

以上をもって、本委員会に付託された令和6年度利府町各種会計決算の審査は全部終了しました。

なお、委員会報告書の作成については、私に一任願います。

これで利府町議会決算審査特別委員会を閉会します。

御苦労さまでした。

午前9時55分 閉 会

---

上記会議の経過は、事務局長太田健二が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するため署名する。

令和7年9月11日

**令和7年 9月決算審査特別委員会会議録（9月11日 木曜日分）**

委 員 長